



そんな大津では、夏から秋にかけて文学作品ゆかりの地を巡る三つのスタンプラリーを実施しています。一つ目にご紹介する「びわ湖大津しきぶらりー」は、紫式部が過ごした日々を思いをさせて、四季折々の大津をぶらりと旅するスタンプラリー。石山寺をはじめ、紫式部ゆかりの地や地

■ 文学の聖地巡り (大津市)

スタンプラリー3種 楽しんで



大津市内を走る「成瀬は天下を取りに行く」のラッピング電車

大津市内で楽しめるスタンプラリー



元は、石垣職人「穴太衆」(著)は、主人公の成瀬あかりが命の対決を描く戦国歴史小説で、第106回直木賞を受賞しました。作品の舞台となった近江の国・大津を巡るスタンプラリーは、作中にも登場する「穴太衆積み」に積み上げた石垣が見られるスタンプポイントにあります。著者書き下ろしのオリジナルご城印はぜひゲットしてもらいたいです。最後は「びわ湖大津観光大使『成瀬あかり』が案内!! 京阪電車でめぐる沿線スタンプラリー」です。2024年本屋大賞を受賞した青春小説「成瀬は天下を取りに行く」(宮島未奈



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

【アクセス情報】びわ湖大津観光協会は、大津市御陵町の市民文化会館内。京阪電車大津役所前駅から徒歩約5分、JR大津駅から徒歩約15分。☎観光協会 077(528)2772

夏と秋の思い出づくりに「文学の聖地・大津」を巡ってみては。(びわ湖大津観光協会・高木圭一郎)

